

高解像度 32X ズームカラーカメラ

取扱説明書

HCZ-6321

高解像度32Xズームカラーカメラ 取扱説明書

Copyright

©2020 Hanwha Vision Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書の著作権は留保されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanwha Vision は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。

この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

❖ 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

概要



注意

感電の危険性あり
開けないでください



注意:

感電のリスクを避けるため、カバー（または裏面）を取り外さないでください。指定部品以外は使用できません。修理については、資格のあるサービススタッフにお問い合わせください。



この記号は、本製品には感電する恐れのある高圧電流が存在することを示しています。



この記号は、本製品の操作およびメンテナンスに関する重要な付属説明書があることを示しています。

警告

- 火災や感電の恐れがあります。製品を雨や湿気に晒さないでください。
- 損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って床/壁にしっかりと取り付けてください。

警告

1. 必ず仕様書で指定されている標準アダプタのみを使用してください。他のアダプタを使用すると、火災、感電、製品の故障の原因になります。
2. 電源コードを誤って接続したり、バッテリーの取替えを誤ると爆発、火災、感電、製品の故障の原因になります。
3. 1つのアダプタに複数のカメラを接続しないでください。許容能力を超えると異常な発熱や火災の原因になります。
4. 電源コードを電源コンセントにしっかりと差し込んでください。接続が完全でないと火災の原因になることがあります。
5. カメラを設置する際、安全にしっかりと固定してください。カメラの落下は人身傷害の原因になります。
6. カメラの上に伝導体(例: スクリュードライバ、硬貨、貴金属など) や水の入った容器を置かないでください。火災、感電、物体の落下に起因する人身傷害を招くことがあります。

概要

7. 本製品を湿気や埃、すすのある場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
8. 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。このような場合にはただちに電源をオフにして、サービスセンターにお問い合わせください。このような状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。
9. 本製品が正常に動作しない場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。本製品は絶対に分解または改造しないでください。(Hanwha Vision社は未許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません)
10. お手入れの際、製品のパーツに直接水を噴霧しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

注意

1. 製品に物を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。過度の振動や磁器妨害のある場所に近づけないでください。
2. 高温(55° C以上)、低温(-10° C以下)、高湿度の場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
3. 一度取り付けけた製品を移動する場合には、電源がオフになっていることを確認してから移動あるいは設置し直してください。
4. 雷雨のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。この作業を怠ると製品の発火や損傷の原因になります。
5. 直射日光や放熱源に近づけないでください。火災の原因となります。
6. 通気性のいい場所に設置してください。
7. CCDイメージセンサーに損傷を与える可能性があるので太陽のような極度に明るい物体にカメラを直接向けないようにしてください。
8. 機材に液体をこぼしたりかけたりせず、また瓶のように液体が入った物体を機材の上に載せたりしないでください。
9. 分離可能な電源プラグを利用し、いつでも利用できるように用意されています。

FCC (連邦通信委員会) 声明

本製品はFCC規則第15章に適合しています。操作は以下の2つの条件を前提とします。

- 1) 本製品が有害な電波妨害を引き起こさないこと。
- 2) 本製品は不適切な操作に起因する電波妨害を含む如何なる電波妨害も受け入れなければならない。

注意

本製品は、FCC規則第15章に定められたクラスAデジタル装置に関する規制要件にもとづいて所定の試験が実施され、これに適合するものとして認定されています。これらの規制要件は装置が商用環境で使用される際に有害な電波妨害に対する適切な保護を提供するために考案されました。

本製品は電磁波を発生し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従って設置、使用しないと無線通信の有害な電波妨害を引き起こす恐れがあります。住宅地域における本製品の使用によって有害な電波妨害を引き起こすことがあり、その場合

ユーザーは自己負担で電波妨害の問題を解決しなければなりません。



Hanwha Vision社は、全ての製品に関して環境条件を考慮して製造し、多くのステップを経て、環境に優しい製品を供給しています。Ecoマークは環境に優しい製品を製造するHanwha Vision社の意思を示すもので、EU RoHS指令に適合する製品であることを示します。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んでください。
2. 本書の指示を守ってください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本製品を水のそばで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布のみを使用して行ってください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。メーカーの指示に従って取り付けてください。
8. ラジエータ、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプなど）などの熱源のそばに設置しないでください。
9. 分極タイプあるいは接地タイプのプラグの安全目的を必ず守ってください。分極プラグには一方が他方より幅広い2本の足が付きます。接地プラグには2本の足とアース（接地）差込み先が付いています。2本の平たい足あるいは3本めの差込み先はユーザーの安全のために付いています。提供されたプラグがお使いのコンセントに合わない場合には、旧式のコンセントの交換について電気技師にご相談下さい。
10. 特にプラグ、ソケット、機器との接点でコードが踏まれたり引っ張られたりしないよう電源コードを保護してください。
11. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。
13. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、カメラコントローラの電源プラグを抜いてください。
14. 全ての修理は資格のあるサービス・スタッフに任せて下さい。修理は電源コードあるいはプラグの損傷、液体をこぼした、または物体を機器内に落としてしまった、機器を雨や湿度にさらしてしまった、正常に機能しない、あるいは機能の低下など、様々な原因で機器が損傷した場合に必要となります。



目次

はじめに	8	特徴
	10	キット内容
	11	部品の名称および機能
8		
接続	13	モニターへの接続
	13	電源への接続
13	14	RS-485インタフェースによる制御
	15	同軸通信の使用
	16	8ピン制御端子への接続
カメラの操作	18	メニュー構成
	19	メニュー設定
18		
トラブルシューティング	38	トラブルシューティング
38		
仕様	39	仕様
	41	寸法
39		
SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明	42	SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明
42		

はじめに

特徴

- **32x 倍速光学ズーム**
内蔵 HCZ-6321(32x) 光学ズームレンズは高耐久性コンポーネントです。オートフォーカス、自動絞り、およびズーム機能を備えています。
- **高解像度**
2.38メガピクセルのCMOSデバイスを使用すれば、水平解像度1000TVラインのクリアな画質をお楽しみいただけます。
- **SSNR (Samsungスーパーノイズリダクション)**
高性能な WN2 チップは、暗い光源時のゲイン上昇によるノイズとゴーストを効果的に解消して、暗い環境でも鮮明な画像を提供します。
- **DIS (デジタル手ブレ補正)**
デジタル手ブレ補正によってカメラのブレが補正されるため、取り込まれる画像の質が向上します。
- **SSDR (Samsungスーパーダイナミックレンジ)**
逆光のように難しい光源状態であるために明るいエリアと暗いエリアの間でコントラストが強い画像の場合、明るい方のエリアでは同じ光レベルを保持しながら、暗いエリアを明るくすることで全体的な明るさを均等にします。
- **昼/夜(ICR)**
このカメラには、昼間または夜間の環境に適したモードを自動的に選択する機能があります。COLORモードは昼間の環境で動作して最適なカラーを提供し、BWモードは夜間の環境で動作して画像の解像度を高めます。

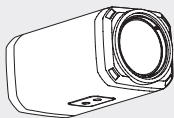
- **モーション検知**
カメラがその他の外部センサーを用いることなくモーションを検知するため、効率的にモニタリングすることができます。
- **その他の機能**
HLC(High Light Compensation)、FLIP(H/V-REV)、D-ZOOM、SHARPNESS、MOTION DETECTION、PRIVACY機能を備えています。
- **通信**
RS-485、同軸通信方法をサポートします。
 - RS-485 通信: Samsung-T/E, Pelco-D/P, Panasonic, Bosch, AD, Vicon, Honeywell
 - 同軸通信: ACP (AHD Coax Protocol)
- **OSD**
カメラのOSDは、9種類の外国語に対応しています。
 - 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、ポルトガル語、日本語、韓国語

はじめに

キット内容

製品パッケージに次のものが含まれていることを確認してください。

(販売国ごとに付属品が異なるため。)



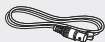
本体



取扱説明書



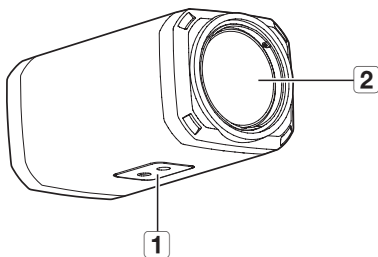
8ピンケーブルASSY



テストモニタ用ケーブル

部品の名称および機能

前面



① 取付ブラケットのネジ穴

取付金具にカメラを固定するために使用。

ネジサイズ: サポートにカメラを固定するために使用するネジの仕様です。

1/4" - 20 UNC

L: 4.5mm ± 0.2mm (ISO標準)、または0.197" (ASA標準)



② ズームレンズ

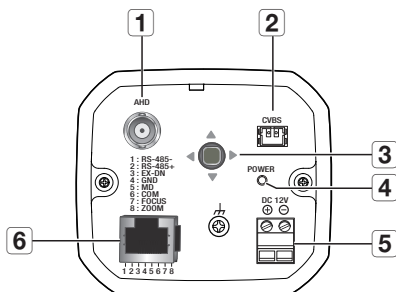
内蔵ズームレンズです。



- 取付ブラケットは含まれていません。
取付ブラケットの使用方法については、製品マニュアルを参照してください。
- レンズ表面の汚れは、レンズティッシュまたはエタノールを染み込ませた布でそっと拭き取ってください。
- 固定部が上部に位置するように設置する場合、映像が反転するため、水平/垂直反転機能(35ページ参照)を使用してください。

はじめに

背面



① AHD 端子

映像信号はこのポートから出力されます。このポートをAHD DVRの映像INポートに接続します。

② CVBS 端子

テストモニターケーブルを使用して、モバイルディスプレイに映像を出力します。

③ 機能設定スイッチ

機能設定ボタンを短く押し、メニュー画面を表示します。

画面にメニューが表示されると、<上/下/左/右 (up/down/left/right)>のカーソルを移動させ、アイテムを選択するか、値またはステータスを変更します。

また、カーソルを上/下/左/右に動かしてズーム、フォーカス、オートフォーカス機能を制御します。

カーソルを下に動かすと、ビューが広がります。(ズームアウト)

カーソルを上を動かすと、遠くの物体へと徐々に近づきます。(ズームイン)

カーソルを左に動かすと、近くの物体を明瞭に確認することができます。

カーソルを右に動かすと、遠くの物体を明瞭に確認することができます。

④ 電源 LED

電源が供給されているときに点灯します。

⑤ 電源入力端子

電源供給端子 (DC タイプ: DC12V $\pm$ 10%)

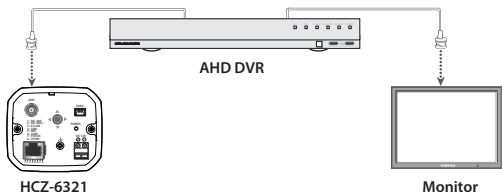
⑥ RJ-45ジャック

RS-485通信、MD OUT、ZOOM、FOCUS、およびEX_DNなどの端子があります。

接続

モニターへの接続

下の図を参照し、DVRを通してモニターに正しく接続します。



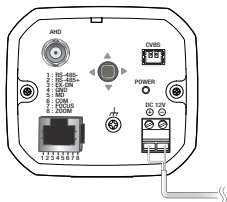
- 接続方法については、機器によって異なるため、機器に同梱されている取扱説明書を参照してください。
- 電源を遮断した状態でケーブルを製品に接続してください。

電源への接続

以下の図に示すように、電源を接続することができます。



- カメラとの接続に、長すぎるアダプター出力ラインを使用すると、カメラの性能に影響が及ぶ場合があります。
- カメラ動作の電圧標準: DC12V $\pm$ 10%
- ワイヤーには極性があります。'+端子'と'-端子'を正しく合わせてください。



接続

銅線の抵抗値[20°C (68°F)]と電圧降下

銅線サイズ (AWG)	#24 (0.22mm ²)	#22 (0.33mm ²)	#20 (0.52mm ²)	#18 (0.83mm ²)
抵抗(Ω/m)	0.078	0.050	0.030	0.018
電圧降下 (V/m)	0.028	0.018	0.011	0.006

- 上記の表に示すように、ケーブルが長くなるほど電圧は低下します。このため、カメラへの電源ケーブルを長くすると、カメラの性能に影響する場合があります。

※ カメラ動作のための標準電圧: DC 12V±10%

※ ケーブルのタイプとメーカーによって、電圧降下に差異が生じることがあります。



■ 必ずすべての取付けが完了した後で、電源を接続してください。

RS-485インタフェースによる制御

このカメラは、リモコン (RS-485通信) などの外部コントローラを使用してOSDの設定ができます。

(1) PCで制御する場合

RS-485 コンバータを介して、カメラの RS-485 制御ポートとシリアルケーブルを接続します。

例) PC シリアルポート → シリアルケーブル RS-485 コンバータ → カメラの RS-485 制御ポート

(2) DVRまたはシステムコントローラを使用して制御する場合

RS-485ケーブル (TRX+, TRX-) を、DVRまたはシステムコントローラに 接続した485コントロールボードの接続ポートに接続します

485コントロールボードの接続ポート	RS-485 制御ポート
(+) 接続端子 (TRX+)	485+
(-) 接続端子 (TRX-)	485-

* RS-485 通信設定初期値

項目	カメラID	BAUD RATE	通信モード	データ受信
初期値	1	9600	8-NONE-1	使用

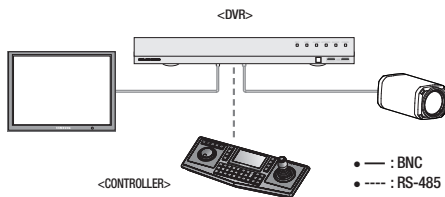


■ 通信プロトコルはSAMSUNG-T, SAMSUNG-E, PELCO-D, PELCO-P, Panasonic, BOSCH, AD, ViconおよびHONEYWELLが使用可能です。

同軸通信の使用

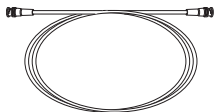
- 同軸通信システム
- OSDによる制御方

カメラ	DVR	コントローラ
設定	MENU/ENTER	OSD KEY
上	上キー	ジョイスティック:上
下	下キー	ジョイスティック:下
左	左キー	ジョイスティック:左
右	右キー	ジョイスティック:右



- ビデオケーブル

カメラのビデオ出力端子は、必ず下記の様な同軸ケーブルを使用して配線してください。1本の同軸ケーブルが下記の長さを超える場合は、補助ビデオアンプを使用してください。



距離	推奨ケーブル仕様
500m	5C2V

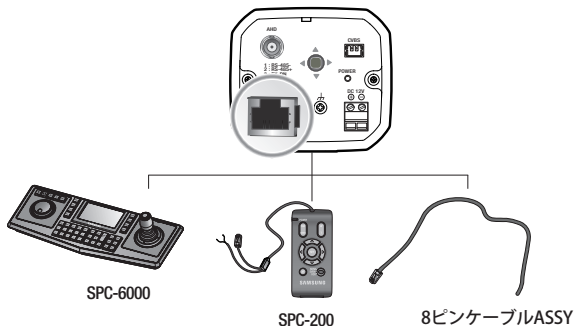


- 同軸ケーブルは、銅メッキの編組線ではなく、純銅の編組線製の物を使用してください。映像ノイズや通信などで不具合の原因となります。

接続

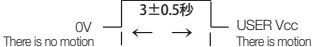
8ピン制御端子への接続

このカメラは、リモコン (RS-485通信) などの外部コントローラを使用して制御できます。



* 8P Control Terminal Configuration

名前	ケーブルの色	説明	名前	ケーブルの色	説明
ZOOM	オレンジ	-	GND	青	-
FOCUS	白/オレンジ		EX DN	白/青	外部D/N
COM	緑		485+	茶	RS-485 通信
MD	白/緑		485-	白/茶	RS-485 通信

コネクタ	機能	信号レベル	I/O
ZOOM	Tele	 +6V ~ +12V COM	I
	Wide	 COM -6V ~ -12V	
FOCUS	Far	 +6V ~ +12V COM	I
	Near	 COM -6V ~ -12V	
COM		 COM	-
MD		 3±0.5秒 0V There is no motion USER Vcc There is motion	O
EX DN		DAYモード: D&N端子がopen状態の時。(この時、電圧を印加しないでください) NIGHTモード: D&N端子とGND端子間がClose状態の時。	I



- ALARM出力形式はオープンコレクタです。プルアップ抵抗が必要です。
- MD機能を使用すると、'GND'をフレームグランドに接続しなければなりません。
- レシーバーボックス (SRX-100B) を使用して電圧制御ZOOMおよびFOCUSを使用する場合、RS-485 (+) (-)通信回線を同時に接続しないでください。

* 有線コントローラ (SPC-200) またはSPC-6000を使用する場合、デバイス間の通信設定を合わせてください。

項目	SPC-200	SPC-6000 (工場出荷時)
MODE	シリアル	シリアル
データビット	8ビット	8ビット
ビット/秒	9600bps	9600bps
パリティ	EVEN	NONE
CAM ID NO.	0	1~255
RETURN PACKET	ENABLE	SPC-6000マニュアルを参照してください。



- 認定された技術者に連絡して検査してください。

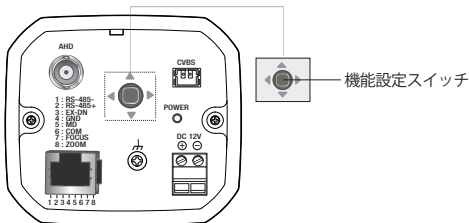
カメラの操作

メニュー構成

MAIN 設定 メニュー			
SSDR	● ON	● OFF	
WHITE BAL	● ATW ● 室外 ● SODIUM	● MANUAL ● 室内	● AWC→SET ● MERCURY
逆光補正	● OFF ● WDR	● BLC	● HLC
INTELLIGENCE	● OFF	● ON	
FOCUS $\leftarrow$ ↵	● モード ● D-ZOOM ● レンズ初期化	● ZOOM TRACK ● ZOOM 位置初期化 ● 戻る	● ZOOM 速度 ● USER PRESET
露出補正 $\leftarrow$ ↵	● BRIGHTNESS ● AGC	● IRIS ● SSNR	● SHUTTER ● 戻る
SPECIAL $\leftarrow$ ↵	● PRIVACY ● DEFOG ● DISPLAY	● DAY/NIGHT ● 通信設定 ● 戻る	● DIS ● IMAGE 機能
RESET			
戻る			

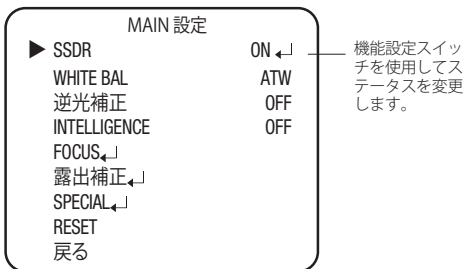
メニュー設定

カメラの背面にある機能設定スイッチを使用します。



- 機能設定スイッチを3秒間以上長押しします。
● MAIN設定メニューがモニター画面に表示されます。

機能設定スイッチを使用して機能を選択します。



- 機能設定スイッチを使用して目的の機能を選択します。
● 目的の項目の上にカーソルを置きます。
- 機能設定スイッチを使用して、選択した項目を設定します。
- 設定を終了するには、'戻る'を選択して機能設定スイッチを押します。

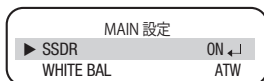


- ◀ アイコンがある項目にはサブメニューもあります。サブメニューを選択するには、アイコンがある項目を選択し、機能設定スイッチを押します。
- --- アイコンが表示された項目は、機能設定により使用不能です。

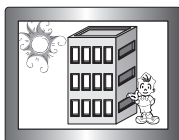
カメラの操作

SSDR (SUPER DYNAMIC RANGE)

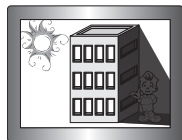
この機能はコントラストの大きな画面でも明暗両方を見やすく補正します。画面中の暗い部分は明るくし明るい部分は飽和しない様にして、画面全体が見やすくなる様に補正する機能です。



1. MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して‘SSDR’を選択し、矢印が‘SSDR’を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して、明るい場所と暗い場所の間のコントラストに応じてSSDRレベルを変更します。



SSDR オン

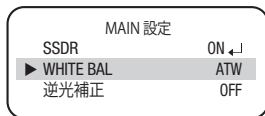


SSDR オフ

WHITE バランス (WHITE BALANCE)

画面の色を調整する場合は、ホワイトバランス機能を使用します。

1. MAIN設定メニュー画面が表示されているときは、機能設定スイッチを使用して‘WHITE バランス’を選択し、矢印が‘WHITE バランス’を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。



❖ 目的に合わせて、次の7つのモードのいずれかを選択します。

- **ATW**：色温度が1,800K～10,500Kの場合に選択します。
- **MANUAL**：ホワイトバランスを手動で微調整する場合に選択します。まず、ATWモードまたはAWCモードを使用して、ホワイトバランスを設定します。スイッチをMANUALモードにしたら、ホワイトバランスを微調整してから機能設定スイッチを押します。
- **AWC→SET**：撮像環境に最適なホワイトバランスに調整する機能で、カメラを白い紙の方に向けてSETボタンを押します。撮像環境が変わった場合には、再調整を行ってください。
- **室外**：色温度が1,700K～11,000Kの場合に選択します。（ナトリウム光を含む）
- **室内**：色温度が4,500K～8,500Kの場合に選択します。室内環境に最適化させるために自動調節が行われます。
- **MERCURY**：これは、水銀灯等の環境でカメラ側の色を最適化する自動補正機能です。（色温度：2400K～11000K）
- **SODIUM**：画像は自動的にナトリウムランプ環境に合わせて補正します。



■ 次の条件では、ATWモードが適切に機能しないことがあります。その場合は、AWCモードを選択してください。

- ① 物体を囲む環境の色温度が制御範囲から逸脱している場合（晴天または夕方など）
- ② 物体の周囲の照明が薄暗い場合
- ③ カメラが蛍光灯に向いているか、照度が大きく変化する場所に設置されている場合には、ATWモードの動作が不安定になることがあります。

カメラの操作

逆光補正

厳しい逆光の状態でも背景から物体をはっきりと区別することを目的としています。

1. MAIN設定メニューの画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して‘逆光補正’を選択し、矢印が‘逆光補正’を指すようにします。

MAIN 設定	
SSDR	ON ◀
WHITE BAL	ATW
▶ 逆光補正	OFF
INTELLIGENCE	OFF

2. 必要に応じて機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- OFF : BLC機能を取り消します。

- BLC :

逆光により見え難くなる領域がある場合ユーザーが見たい領域を指定する事でその領域を最良の画像に補正します。

- LEVEL : 指定エリアの輝度を調整することができます。

- 上/下/左/右:

指定エリアの位置を調整することができます。

BLC 設定	
▶ LEVEL	中
上	30
下	70
左	30
右	70
戻る◀	

- HLC (ハイライト補正) :

カメラに向かって街灯やヘッドライトなどの強い光が差し込む場合には、光に照らされた領域をマスクしてカメラを飽和から保護することができます。

- LEVEL : HLCが動作する輝度を調整することができます。

- MASK TONE : マスクエリアの輝度を指定することができます。

HLC 設定	
▶ LEVEL	中
MASK TONE	7
戻る◀	



- WDR/BLCモードでは照明条件によって下記の現象が発生する場合には、OFFに設定してください。

- ① 色や明るさが不自然に変化する場合。

- ② 画像の明るいエリアでノイズが発生する。

- WDR/HLC/BLC機能の性能は、画像内の明るいエリアの大きさによって異なる可能性があるため、設置角度を最適に保って性能を十分に引き出すことをお勧めします。

- BLCを有効化すると、光源の状態に応じてオートフォーカス操作を繰り返す必要があります。ONE-PUSHまたはMANUALモードでFOCUS設定メニューを使用することをお勧めします。

- スマートズームとBLCを同時に使用することはできません。

- スマートズームを設定した後でBLCを設定すると、自動的にスマートズームが取り消さ

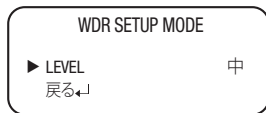
れます。

- 暗い場合、明るい光が特定のサイズを超えないとHLCIは有効になりません。（NIGHT ONLYモードの場合。）

● WDR

明るい領域と暗い領域が同時に混在している場合、このモードではどちらのエリアも区別できるようになります。

- LEVEL : 低、中、高から一つを選択して、WDR設定の輝度を調整します。
- 戻る: MAIN 設定メニューに戻ります。



<WDR オン>



<WDR オフ>

カメラの操作

INTELLIGENCE

動く物体を検知およびトレースすることができます。

1. MAIN設定メニュー画面が表示されたら、機能設定スイッチを使用して 'INTELLIGENCE' を選択し、矢印が 'INTELLIGENCE' を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- DETECTION : カメラは追加の外部センサーなしでモーションを検知するため、動作をより効率よく監視できます。

- TRACKING : 移動している物体を検知し、トレースするようにカメラに指示します。

- TYPE : 線型およびエリア型という2種類のフェンスが使用できます。

- COUNT : 物体がエリア型のフェンスに進入および脱出した回数を表示します。

- DISPLAY : フェンスを表示するかどうかを決めます。

- FILL : FENCEを色で塗りつぶすか、色を削除します。

- POSITION : 線またはフェンス内の領域の位置と検知方向を定義します。

- 1) LINE FENCE

- 位置選択 : POS1、POS2から位置を選択します。

- 水平位置/垂直位置 : 選択した線型のフェンスのサイズと位置を調整します。

- DIRECTION

- DIR1 : フェンスの線の左から右へ移動する物体を検知します。

- DIR2 : フェンスの線の右から左へ移動する物体を検知します。

- DIR1/2 : フェンスの線を横切って移動するすべての物体を検知します。

- 戻る : この項目を選択すると、POSITIONメニューに関する設定を保存し、TRACKINGメニューに戻ります。

- 2) AREA FENCE

- 位置選択 : POS1~POS4から位置を選択します。

- 水平位置 / 垂直位置 : 選択した領域のフェンスのサイズと位置を調整します。

- DIRECTION

INTELLIGENCE

▶ DETECTION	OFF
TRACKING	OFF
FIXED/MOVED	OFF
TAMPERING	OFF
DETECT BOX	OFF
ALARM OUT	ON
SMART ZOOM	OFF
設定↵	
戻る↵	

TRACKING

▶ TYPE	LINE
COUNT	OFF
DISPLAY	ON
FILL	ON
POSITION↵	
戻る↵	

- IN : フェンス内の領域に進入する物体を検知します。
- OUT : フェンス内の領域から脱出する物体を検知します。
- IN/OUT : フェンス内の領域に進入および脱出するすべての物体を検知します。

TRACKING	
▶ 位置選択	POS1
水平位置	***** 960
垂直位置	* 0
DIRECTION	DIR1
戻る◀	

TRACKING	
▶ 位置選択	POS1
水平位置	***** 640
垂直位置	*** 288
DIRECTION	IN
戻る◀	

- 戻る : この項目を選択すると、POSITIONメニューに関する設定を保存し、TRACKINGメニューに戻ります。
- FIXED/MOVED : 画面に登場または画面外に消える物体か、あるいは動かずに画面内にとどまっている物体を検知します。



- 検知 (FIXED/MOVED) エラーは次の場合に発生します。
 - 継続して、ランダムな方向に複数の動きがある場合
 - 固定された物体が一方向に継続的に動く場合
 - 2つ目の物体が1つ目の動く物体にかぶる場合
- TAMPERING : イベント発生時検知できるように設定することができます。
- DETECT BOX : 物体の移動が、カスタムのモーションタイプと一致した場合は、画面上でボックスを使用してその物体の輪郭を示します。
- ALARM OUT : 物体の移動が、カスタムのモーションタイプと一致した場合は、カメラのモーション検知出力端子から信号をリリースします。

- SMART ZOOM :
スマートズームは、MOTION DETECTIONに関連して動作します。SMART ZOOM機能が'ON'でありMOTION DETECTIONモードが'ON'であるときに動きを検知すると、ズームは終了位置の位置に移動します。ズームアクションが終了して'切替時間'が経過すると、ズームは'初期位置'の位置に戻ります。

SMART ZOOM 設定	
▶ START ZOOM	x1
TARGET ZOOM	x5
切替時間	5 秒
戻る◀	

- START ZOOM : 'START ZOOM'項目の左右ボタンを動かして、'SMART ZOOM'アクションの終了後にズームが戻る位置を1倍から32倍までの中から選択します。
- TARGET ZOOM : 'TARGET ZOOM'項目の左右ボタンを使用して、モーション検知中に使用するズーム位置を1倍から32倍の中から選択します。

カメラの操作

- 切替時間: '切替時間'項目の左右ボタンを使用して、ズームが'START ZOOM'位置に戻るまでの滞留時間を5秒から60秒の中から選択します。
(5秒、7秒、10秒、15秒、20秒、30秒、40秒、60秒)

● 設定

- DETECT 領域: モーション検知エリアを定義付けます。

- 領域選択: 最大4つのエリアを選択することができます。
- 領域モード: AREAで選択したエリアを使用するかどうかを決めます。
- DETECT ALARM: AREAで選択した検知アラームを使用するかどうかを決めます。
- 上/下/左/右: 選択したエリアの広さと位置を調整します。
- 戻る: DETECT AREAメニュー設定を保存し、SETUP CONFIGメニューに戻る場合にこれを選択します。

- MASK 領域: モーション検知の例外エリアを指定するには、このエリアにマスクをかけます。

- 領域: 最大4つのエリアを選択することができます。
- 領域モード: 選択したエリアを使用するかどうかを指定します。
- 上/下/左/右: モーション検知の例外エリアの位置を調整することができます。

- 感度: モーション検知の感度レベルを指定します。数値が低いほど、感度は上がります。

- DET. SIZE: 画面上で検知する物体のサイズを指定します。数値が高いほど、サイズは大きくなります。

- 戻る: INTELLIGENCEメニューに戻ります。

設定↵

▶ DETECT 領域 ↵

MASK 領域 ↵

感度 3

DET. SIZE↵

戻る↵

DETECT 領域

▶ 領域選択 領域 1

領域モード ON

DETECT ALARM ON

上 * 0

下 1080 *

左 0 *

右 1920 *

戻る↵

MASK 領域

▶ 領域 領域 1

領域モード OFF

上 128 *

下 416 *

左 128 *

右 704 *

戻る↵



■ モーション検知機能の使用についてのヒント

- この機能は、点滅光の条件下では正しく働かない場合があります。
- カメラは、突然の明度の変化やそれによるオブジェクトの輝度の変化をモーションとして読み取ります。
- この機能を有効にすると、他のアルゴリズムが動作するのに余分の時間がかかる場合があります。
- このシステムは、火災防止や盗難防止を保証するものではありません。メーカーは発生するいかなる事故または損傷について、責任を負うことはありません。

FOCUS

1. MAIN設定メニュー画面が表示されたら、機能設定スイッチを使用して'FOCUS'を選択し、矢印が'FOCUS'を指すようにします。

2. 機能設定スイッチを押します。

- モード：最適なズームモードを選択できます。機能設定スイッチを使用して矢印インジケータを'モード'に移動します。

- ONE-PUSH :
ズームの実行後、フォーカスは自動的に1回調整されます。
ONE PUSHモードを選択して上下ボタンを使用して、ズームを実行します。
左右ボタンを使用して、フォーカス調整します。

- AUTO :
ズーム倍率に応じてフォーカスが自動的に調整されます。
AF (AUTO FOCUS) モードを選択し、SETを押します。上下ボタンを使用して、ズームを実行します。

FOCUS 設定

▶ モード	ONE-PUSH◀
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF
ZOOM 位置初期化	AUTO
USER PRESET	OFF
レンズ初期化	MANUAL◀
戻る◀	

ZOOM/FOCUS 位置設定

← : NEAR → : FAR
↑ : TELE ↓ : WIDE

ZOOM 位置設定

↑ : TELE ↓ : WIDE

カメラの操作

- MANUAL :

ズーム倍率に応じてフォーカスは手動で調整する必要があります。

MF (MANUAL FOCUS) モードを選択して上下ボタンを使用して、ズームを実行します。左右ボタンを使用して、フォーカスを調整します。

ZOOM/FOCUS 位置設定

← : NEAR → : FAR
↑ : TELE ↓ : WIDE

● ZOOM TRACK :

MOTION DETECTIONメニューで'SMART ZOOM'項目について'ON'を選択してから機能設定スイッチを押すと、'SMART ZOOM'機能の設定が変更されます。

'ZOOM'項目で左右ボタンを使用し

て、'AUTO TRACK'または'TRACK'を選択してからSETボタンを押すと、ズームアクションフォーカス機能が有効になります。

- AUTO TRACK : フォーカスのステータスを決定または調整するときにズームインします。

- TRACK : カメラは確立されているフォーカストラックを移動します。

- OFF : ズームレンズのみが移動します。

FOCUS 設定

モード	ONE-PUSH _{上下}
▶ ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速

● ZOOM 速度 :

この機能を使用してズームトレース速度を設定します。上下ボタンを使用してインジケータを'ZOOM 速度'に合わせて、左右ボタンを使用して目的のモードに設定します。

- 高速 : ズームを素早く動かします。

- 低速 : ズームをゆっくり動かします。

- 中速 : ズームを中程度の速度で動かします。

FOCUS 設定

モード	ONE-PUSH _{上下}
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
▶ ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF

● D-ZOOM :

この機能を使用して2倍から16倍までの中から倍率制限を設定します。上下ボタンを使用してインジケータを'D-ZOOM'に合わせて'D-ZOOM'を'ON'に設定してから、機能設定スイッチを押して確認します。

- 機能設定スイッチを使用して、所望のレベルに'ズーム制限 (ZOOM LIMIT)'を設定します。

D-ZOOM LIMIT 設定

▶ LIMIT	X2
戻る _左	



- DISが有効な場合はD-ZOOMを使用することはできません。

- ZOOM 位置初期化:
電源がオンになったときにズームの初期位置が設定されている場合は、制御されたズーム位置まで移動します。

- AUTO :電源をオフにしてオンにすると、ズーム倍率レベルは電源がオフになる前に設定されていた元のレベルに設定されます。

- MANUAL : 1倍から32倍までのズーム倍率レベルを設定できます。



- ズーム機能を設定すると10分後にズーム位置が保存されます。

FOCUS 設定	
モード	ONE-PUSH◀
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF
▶ ZOOM 位置初期化	AUTO
USER PRESET	OFF

ZOOM 位置初期化設定	
▶ 位置初期化	x1
戻る◀	

- USER PRESET :
この機能を使用してユーザー指定の設定をプリセットします。機能設定スイッチを使用してインジケータを'USER PRESET'に合わせて、左右ボタンを使用して'ON'に設定します。機能設定スイッチを押して確認します。

- PRESET NO :
128個までのプリセット設定がサポートされます。

- PRESET 保存 : 設定したプリセットを保存します。

- PRESET CLEAR : 設定したプリセットを消去します。

- 戻る : FOCUS SETUPメニューまで戻ります。

FOCUS 設定	
モード	AUTO◀
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF
ZOOM 位置初期化	AUTO
▶ USER PRESET	OFF
レンズ初期化	MANUAL◀

USER PRESET 設定	
▶ PRESET NO.◀ * 1	1
PRESET 保存	
PRESET CLEAR	
戻る◀	
PRESET NOT DEFINED	

- レンズ初期化:
'レンズ初期化'項目で機能設定スイッチを使用して'Automatic'または'Manual'を選択してから、機能設定スイッチを押します。

- AUTO : 1日から7日までの事前選択した間隔に合わせてレンズの初期化を行います。これを設定した時刻からカウントダウンします。

- Manual : 機能設定スイッチを押すとレンズは初期化を行います。

- 戻る : 現在の設定を保存し、親メニュー (MAIN設定) に戻ります。

レンズ初期化設定	
▶ 日	1
戻る◀	

カメラの操作

露出補正

MAIN設定メニューから露出補正を選択し、機能設定スイッチを押します。これで、露出設定を変更することができます。

1. MAIN設定メニューから露出補正を選択し、機能設定スイッチを押します。これで、露出設定を変更することができます。

2. 機能設定スイッチを押します。

- **BRIGHTNESS:**

この機能を使用して画像の輝度を調整します。機能設定スイッチを使用してインジケータを'BRIGHTNESS'に合わせます。次に、画面上の変更を確認しながら左右ボタンを使用して輝度レベルを調整します。目的のレベルが得られたら戻るを指定します。

- **IRIS:** 'IRIS'として'AUTO'または'MANUAL'を設定します。上下ボタンを使用してインジケータを'IRIS'に合わせて、左右ボタンを使用して目的の絞りモードを選択します。

- **AUTO:** 絞りは照明に対して自動的に有効になります。

- **MANUAL:** 手動の絞り設定。左右ボタンを使用して'IRIS'を'MANUAL'に設定し、機能設定スイッチを押します。画面上の変更を確認しながら左右ボタンを使用して絞りレベルを調整します。

- **SHUTTER:** シャッター速度を調整して画像の輝度を制御します。

- ① 上下ボタンを使用してインジケータを'SHUTTER'に合わせます。左右ボタンを押して目的のシャッターモード(A.FLK、ESC)を選択します。

- **A.FLK (1/100):** AC100V/50Hz地域で、フリッカーの無い画像が得られます。

- **ESC:** 自動的にシャッター速度を切換え最適な明るさに調整します。自動動作が可能なのは、IRISがMANUALに設定されている場合に限られます。

MAIN 設定

SSDR	ON ◀
WHITE BAL	ATW
逆光補正	OFF
INTELLIGENCE	OFF
FOCUS ◀	
▶ 露出補正 ◀	
SPECIAL ◀	

露出設定

▶ BRIGHTNESS	*	50
IRIS		AUTO
SHUTTER		ESC ◀
AGC		高
SSNR		中
戻る ◀		

IRIS MANUAL 設定

▶ IRIS F-No	F1.6
戻る ◀	

露出設定

BRIGHTNESS	*	50
IRIS		AUTO
▶ SHUTTER		ESC ◀
AGC		高
SSNR		中
戻る ◀		

- ② 機能設定スイッチを押して完了します。



- カメラを'ESC'モードに設定し、強力な蛍光灯の光を照らすと、画像が不安定になる場合があります。
- 明るい環境下でシャッターを低速にすると、サチュレーションが生じる場合があります。

- AGC(自動ゲイン調整): カメラが暗い光源状態で被写体を取り込んだ場合には、AGC(自動利得制御)によりカメラの利得と画面の輝度が調整されます。

- ① 機能設定スイッチを使用し、矢印が<AGC>を指すようにします。

- ② 'AGC'を所望のモードに設定します。

- 高: 広範囲のゲイン値調整。
- 低: 狭い範囲のゲイン値調整。
- 中: 中程度の範囲のゲイン値調整。

- SSNR(スーパーノイズリダクション): モードに応じて、低コントラストの画面のバックグラウンドノイズが軽減されます。

- ① 機能設定スイッチを使用し、矢印が<SSNR>を指すようにします。

- ② 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- 低: 低いノイズリダクション
- 中: 中程度のノイズリダクション
- 高: 高いノイズリダクション
- OFF: 無効



- 'AGC'設定をLOWからHIGHに変更すると、感度が高くなり、画面ノイズも大きくなります。
- 'AGC'をOFFに設定すると'SSNR'の機能は停止します。

- 戻る: MAIN設定メニューまで戻ります。

露出設定	
BRIGHTNESS	50
IRIS	AUTO
SHUTTER	ESC
▶ AGC	高
SSNR	中
戻る	←

露出設定	
BRIGHTNESS	50
IRIS	AUTO
SHUTTER	ESC
AGC	高
▶ SSNR	中
戻る	←

カメラの操作

SPECIAL

1. MAIN設定メニュー画面が表示されたら、機能設定スイッチを使用して‘SPECIAL’を選択し、矢印が‘SPECIAL’を指すようにします。

MAIN 設定		
SSDR		ON ◀
WHITE BAL		ATW
逆光補正		OFF
INTELLIGENCE		OFF
FOCUS◀		
露出補正◀		
▶ SPECIAL◀		
RESET		

2. 機能設定スイッチを押します。

- **PRIVACY**: 画面上で表示しないエリアを非表示にします。

- ① SPECIALメニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用し、矢印が‘PRIVACY’を指すようにします。

SPECIAL 設定		
▶ PRIVACY◀		
DAY/NIGHT		AUTO◀

- ② 機能設定スイッチを使用してモードを設定します。

- 領域: 最大12の領域を目的に応じて指定できます。
- 領域モード: AREA SELで選択されたエリアを使用するかどうかを決定します。
- MASK COLOR: 選択したエリアの塗りつぶしに使用される色を6色(緑、赤、青、黒、白、灰色)から選択できます。
- 上/下/左/右: 選択したエリアの広さと位置を調整します。
- 戻る: SPECIAL 設定メニューに戻ります。

PRIVACY 設定		
▶ 領域選択		領域 1
領域モード		OFF
MASK COLOR		GRAY
上	*	192
下	*	352
左	*	256
右	*	512
戻る◀		

- **DAY/NIGHT**: 周囲の明るさに応じて自動的にカラー/白黒を切替えて表示します。

- ① SPECIALメニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用して‘DAY/NIGHT’を選択し、矢印が‘DAY/NIGHT’を指すようにします。

SPECIAL 設定		
PRIVACY◀		
▶ DAY/NIGHT		AUTO◀
DIS		OFF
DEFOG		OFF

- ② 目的の画像表示に応じて、左右ボタンを使用して目的のモードを選択します。

- AUTO : このモードは日中の環境では'Color'に切り替えられますが、周囲の照度が低い場合は、'B/W'モードに切り替えます。AUTOモードに関する切替時間または速度を設定するには、機能設定スイッチを押します。

DAY/NIGHT AUTO 設定

▶ 切替時間	5 SEC
切替条件	SLOW
戻る◀	

▶ 切替時間 : 次の中から、DAY/NIGHTの切替り遅延時間を選択できます。

→5, 7, 10, 15, 20, 30, 40, 60(秒)

▶ 切替条件 : DAY/NIGHTの切替る明るさを選択できます。

- COLOR: 画像は常にカラーで表示されます。

- B/W : 画像は常に白黒で表示されます。

- EXTERN : このモードでは、外部信号により切替ることができます。



- EXPOSUREメニューのAGCが'OFF'になっている場合、DAY/NIGHTメニューを制御することはできません。この時、DAYモードとNIGHTモード間の切り替えは、'COLOR'モードの選択と同じように動作します。
- カラーまたはB/Wに切り替えると、安定したカメラ動作を行うため、OSDキーは3秒間動作しません。
- 通常の照明に比べ、赤外線照明下では、カメラのフォーカス性能が低くなる場合があります。
- 照明の輝度は、取付け環境によって変化する場合があります。

カメラの操作

- DIS: DISモードではカメラの振動等による揺れを補正し、改善する機能です。



- DISの動作中にD-ZOOMは動作しません。

SPECIAL 設定

PRIVACY◀
DAY/NIGHT
▶ DIS AUTO◀
DEFOG OFF
OFF

- DEFOG: Defog機能を通じてカメラが自動で画面の霧濃度を認識し、曇り・スモッグなどで視界不良の場合にも鮮明な画像を表示できます。

- AUTO: レベルを自動的に調整します。

- MANUAL: ユーザーが設定したDefogレベルによって、画像の鮮明度を調整します。

- OFF: 解除

DEFOG LEVEL SETUP

▶ LEVEL ■■■*■■■■■■■■■■ 4
戻る◀

- 通信設定:

外部の制御デバイスを使用してカメラを制御している場合は、この機能カメラの各種通信条件を設定します。

- SPECIALメニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用し、矢印が'通信設定'を指すようにします。

- 機能設定スイッチを4方向に動かしてモードを設定します。

通信設定

▶ PROTOCOL SAMSUNG-T
カメラ ID *■■■■■■■■■■ 1
BAUD RATE 9600
通信モード 8-N-1
データ受信 使用
COAX ON
戻る◀

- Protocol: 通信プロトコルを選択します。(SAMSUNG-T, SAMSUNG-E, Pelco-P, Pelco-D, Vicon, Panasonic, Bosch, Honeywell, AD.)

- カメラID: カメラの識別番号を決定します (0~255)。

- BAUD RATE: 2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200 bpsを選択できます。

- 通信モード: パリティビットとして、NONE、EVEN、またはODDを選択できます。

- データ受信: カメラに通信制御コマンドを送信した場合に、ACK信号を送るかどうかを選択できます。

- COAX: 同軸通信の使用を指定する。

CVBSモードでは同軸通信は使用できません。

- IMAGE 機能: 画質や特殊機能を調整します。

- 1 SPECIALメニュー画面が表示されたら、機能設定スイッチを使用して'IMAGE 機能'を選択し、矢印が'IMAGE 機能'を指すようにします。

SPECIAL 設定

PRIVACY	←
DAY/NIGHT	AUTO ←
DIS	OFF
DEFOG	OFF
通信設定	←
▶ IMAGE 機能	←
DISPLAY	←

- 2 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- 水平反転: 画面上の画像を水平に反転することができます。
- 垂直反転: 画面上の画像を垂直に反転することができます。

IMAGE 設定

▶ 水平反転	OFF
垂直反転	OFF
SHARPNESS	ON ←
MONITOR	LCD ←
戻る	←

- SHARPNESS: この値を大きくすると、画像の輪郭が強調され、明確になります。

- MONITOR: モニターに適したビデオの設定値に調整してください。

SHARPNESS LEVEL 設定

▶ LEVEL	*	15
戻る	←	

- ▶ LCD: LCDモニターを使用するときは、このメニュー項目を選択してください。

- ▶ USER: 標準ではないモニターを使用するときは、このメニュー項目を使用してください。サブメニューでガンマ値、PEDレベル、およびカラーゲインを変更することができます。

LCD MONITOR 設定

▶ GAMMA	0.45
COLOR LEVEL	* 40
RESET	
戻る	←

- 戻る: SPECIAL 設定メニューに戻ります。

カメラの操作

- **DISPLAY:** この機能を用いてカメラの名称を指定します。その名称がモニタリング画面に表示されます。

- カメラ TITLE

- ① 機能設定スイッチを押してDISPLAY設定メニューを表示し、上下ボタンを使用して矢印インジケータを'カメラ TITLE'に移動します。

- ② 機能設定スイッチを使用して'カメラ TITLE'を'ON'に設定します。

- 'カメラ TITLE' 機能を'OFF'に設定すると、名前はモニター内に表示されなくなります。

- ③ 機能設定スイッチを押します。

- ④ 方向ボタンを使用して目的の文字に移動し、機能設定スイッチを押します。このプロセスを繰り返して最大15文字を入力します。

- 誤りの修正
'CLR'までカーソルを移動してから機能設定スイッチを押して、エントリ全体を消去します。1文字を修正するには、左右ボタンを使用して修正する文字の上にカーソルを合わせて、入力する文字を選択した後で機能設定スイッチをクリックします。

- ⑤ タイトルを入力し、カーソルを'POS'に移動して、機能設定スイッチを押します。入力したタイトルが画面に表示されます。4つの方向ボタンを使用してタイトルを画面に表示する位置を選択し、機能設定スイッチを押します。位置が決まったら、次のいずれかを選択します。

- カメラ ID: 画面の左上隅にカメラIDを表示します。

- カメラ INFO: 画面にカメラ情報を表示します。

- ZOOM 倍率: この機能を使用して現在のズーム倍率レベルを画面に表示します。上下ボタンを使用してインジケータを'ZOOM 倍率'に合わせます。次に、左右ボタンを使用してONに設定します。

DISPLAY 設定

▶ カメラ TITLE	OFF
カメラ ID	ON
カメラ INFO	ON
ZOOM 倍率	ON
LANGUAGE	日本語
戻る◀	

CAMERA TITLE 設定

A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m
n o p q r s t u v w x y z
- . 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
←→ CLR POS END



- LANGUAGE : 必要に応じてメニュー言語を選択できます。
- RETURN : この項目を選択すると、SPECIALメニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。

RESET

カメラを工場出荷時の条件にリセットします。

通信、言語およびモニターの設定は初期化されません。

戻る

MAIN設定メニューを終了します。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

カメラの動作に問題がある場合は、次の表を参照してください。

ガイドラインに従っても問題が解決しない場合は、認定技術者にお問い合わせください。

問題	解決策
画面に何も映らない。	▶ カメラの電力に適合した電力で供給されていることを確認してください。 ▶ ビデオケーブルがカメラのビデオ出力ジャックと正しく接続されているかどうかを確認してください。
画面に表示される画像が薄暗い。	▶ レンズが汚れている場合、清潔な布で傷が付かない様に拭いてください。汚れが取れない場合は、レンズを交換して下さい。 ▶ モニターの輝度等を正しい状態に設定してください。 ▶ カメラが非常に強い光に晒されている場合は、カメラの位置を変更してください。
画面に表示される画像が暗い。	▶ モニターのコントラスト機能を調整してください。 ▶ 中間デバイスを使用している場合は、75Ω/Hi-z (ハインピーダンス) を正しく設定してください。
カメラが正常に動作せず、カメラの表面が熱くなっている。	▶ カメラを正しい電源に接続していることを確認してください。
モーション検知機能が動作しない。	▶ インテリジェントビデオモードが ON に設定されていませんか。この時は動作しません。
色が正しくない。	▶ WHITE BAL SETUPメニューの設定を確認してください。
画面が継続的にちらつく。	▶ カメラの方向が太陽に向いていないことを確認してください。向いている場合は向きを変えて下さい。
同軸通信が使用不可能な場合	▶ カメラとモニターが推奨距離の範囲内に設置されていることを確認してください。 ▶ 推奨設置距離を上回っている場合は、COAXITRONと同等のビデオアンプを使用してください。

仕様

仕様

HCZ-6321	
ビデオ	
撮像素子	1/2.8" 2.38M CMOS
合計画素数	1952(H) x 1116(V), 2.18M
有効画素数	1944(H) x 1104(V), 2.14M
走査システム	プログレッシブ
最低照度	カラー : 0.2 ルックス (1/30sec, F1.6, 30IRE), 0.003 ルックス (2sec, F1.6, 30IRE) 白黒 : 0.01 ルックス (1/30sec, F1.6, 30IRE), 0.0001 ルックス (2sec, F1.6, 30IRE)
S/N (Y信号)	50dB
ビデオ出力	AHD : 1080p, BNC CVBS : SD, DIP connector type
レンズタイプ	
焦点距離 (ズーム倍率)	4.44 ~ 142.6mm(光学32倍速)
最大口径比	F1.6 (広角) / F4.4 (望遠)
画角	H : 62.8°(広角) ~ 2.23°(望遠) / V : 36.80°(広角) ~ 1.26°(望遠)
最短物体距離	広角 1.5m, 望遠 2m
フォーカス制御	自動/手動/ワンプッシュ
レンズタイプ	DC自動絞り
マウントタイプ	Board-in type
操作関連	
カメラタイトル	オフ/オン (15文字表示)
昼/夜	自動 (ICR) / 外部/カラー/白黒
逆光補正	オフ/HLC/BLC/WDR
ワイドダイナミックレンジ	120dB
コントラスト強調	SSDR(オフ/オン)
デジタルノイズリダクション	SSNRIII (2D+3D Noise Filter) (オフ/オン)
デジタル手ブレ補正	オフ/オン
Defog	自動 / マニュアル / オフ
モーション検知	オフ / オン (四角ゾーン)
プライバシーマスク	オフ/オン (12のプログラム可能ゾーン)
ゲイン調整	オフ/低/中/高
ホワイトバランス	ATW / AWC / 屋外/屋内/手動 / Mercury / Sodium

仕様

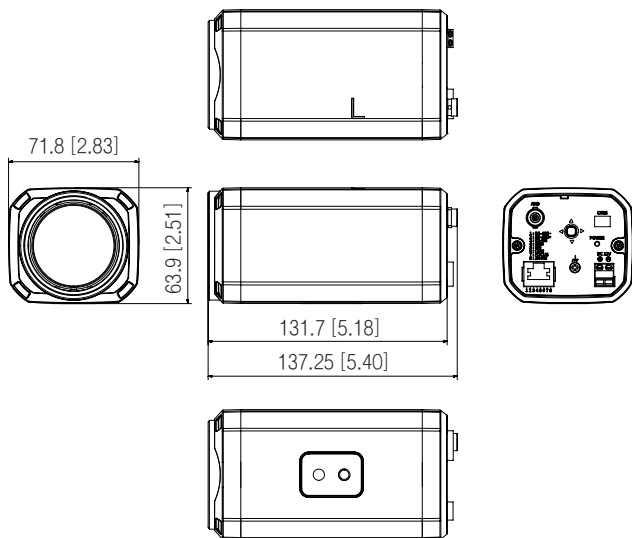
HCZ-6321	
電子シャッター速度	最小/最大/アンチフリッカー (2~1/33,000秒)
デジタルズーム	16x
反転/ミラー (逆再生)	オフ / オン
インテリジェントビデオ検知	Detection / トラッキング / 固定、移動 / Tampering
通信	COAXIAL制御、RS-485 プロトコル
プロトコル	RS-485: Samsung-T/E, Pelco-D/P, Panasonic, Bosch, AD, Vicon, Honeywell Coaxial : ACP (AHD Coax Protocol)
映像伝送距離	500m(5C2V Coaxial Cable)
環境関連	
動作温度/湿度	-10°C ~ +55°C (+14°F ~ +131°F) / RH90%以下
保存温度/湿度	-10°C ~ +60°C (-22°F ~ +140°F) / RH90%以下
電力関連	
入力電圧	DC12V
消費電力	最大 6W
メカニカル	
色/材質	Dark Gray / 金属製
寸法 (WxHxD)	71.8 x 63.9 x 137.25 mm
重量	451g

※ 製品の改良のため、この製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

寸法

単位: mm[インチ]

● 仕様



SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明

SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明

コマンド名		Byte1	Byte2	Byte3
	コマンドパケット	STX	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	STX	CAM ID	HOST ADDR
	Checksum	チェックサム計算: Byte2からByte9までの合計の単項例) チェックサム = ~(BYTE2+BYTE3+...+BYTE8+BYTE9)		
リセット	機能	すべてのデータを工場初期値に戻します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
フォーカスファーク	機能	フォーカスレンズをフォーカスファークに移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
フォーカスニア	機能	フォーカスレンズをフォーカスニアに移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
広角ズーム	機能	ズームレンズを広角方向に移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
望遠ズーム	機能			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
ズームダイレクト	機能			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	パラメータ	P1,P2: OPTICAL ZOOM = 0000h ~ 07DDh P3 : DIGITAL ZOOM = ((256*10)/Ratio)-1 Ex) D-ZOOM 1.1x : P3 = E7h = ((256*10)/11)-1, Ratio 11 means 2 D-ZOOM 2.0x : P3 = 7Fh = ((256*10)/20)-1, Ratio 20 means 2		
AF停止	機能	ズームおよびフォーカスレンズの移動を停止します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
ワンプッシュAF	機能	オートフォーカスを無条件で実行します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR

Byte4 Byte5	Byte 6	Byte7	Byte8	Byte9	Byte10	Byte11
CAMMAND	DATA3	DATA4	DATA5	DATA6	ETX	CHECKSUM
CAMMAND	DATA3	DATA4	DATA5	DATA6	ETX	CHECKSUM

演算

9)

000Fh	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
000Fh	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0

0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0040h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0040h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0020h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0020h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

00FFh	P1	P2	P3	00h	AFh	CHECK SUM
00FFh	P1	P2	P3	00h	AFh	CHECK SUM

1.1x.

2.0x.

0

0000h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0000h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0045h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0045h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明

ユーザープリセットの保存	機能	現在のユーザープリセットの設定情報を保存します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	パラメータ	P1:00h(USER PRESET 1) ~ 80h(USER PRESET 128)		
ユーザープリセットの実行	機能	選択したユーザープリセットを実行します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	パラメータ	P1:00h(USER PRESET 1) ~ 80h(USER PRESET 128)		
ユーザープリセットのクリア	機能	選択したユーザープリセットをクリアします。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	パラメータ	P1:00h(USER PRESET 1) ~ 80h(USER PRESET 128)		
OSDメニューのオン/オフ	機能	画面にOSDメニューを表示します。 OSDメニューをクリアし、現在のメニュー設定を保存します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	パラメータ	P1:00h = ON 01h = OFF		
OSDメニュー上	機能	OSD矢印を上に移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
OSDメニュー下	機能	OSD矢印を下に移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
OSDメニュー左	機能	OSD矢印を左に移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
OSDメニュー右	機能	OSD矢印を右に移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
OSDメニュー設定	機能	内部メニューに移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
OSDメニューESC	機能	上部メニューに移動します。		
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR

0003h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
0003h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

0007h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
0007h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

0005h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
0005h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

00B1h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
00B1h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

0008h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0008h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0010h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0010h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0004h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0004h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0002h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0002h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

